

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-カ	産業間連携の強化	施策	① 観光リゾート産業と多様な産業との連携
			施策の小項目名	○観光客等のニーズ把握
主な取組	観光統計実態調査(観光客満足度調査)			
対応する 主な課題	①観光リゾート産業のさらなる高度化に向けては、ものづくり産業、農林水産業、情報通信関連産業等、多様な産業との有機的な連携を強化し、観光産業がもたらす県経済全体への波及効果を高めていく必要がある。 ②観光土産品については、観光客に選ばれる魅力的な観光土産品の開発販売の促進や観光土産品の域内調達率の向上が課題となっており、沖縄らしさを感じられる地域特産品の開発やブランド化、農商工連携等を含めた事業者間の連携を促進し、産業間相互の振興に努める必要がある。また、アジア展開や外国人観光客等の増加を踏まえ、食嗜好やパッケージなど新たなニーズ・課題に対応した商品開発、デザイン開発等に取り組む必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
観光客の実態把握を目的とし、本県を訪れた観光客等を対象としたアンケート調査の実施により、性別・年代・居住地・消費額等の基本属性に加え、旅行全般の満足度等を毎年調査し、各種観光統計資料の作成、プロモーション事業の基礎データとなるような分析を行う。						
実施主体	県	観光客の満足度調査等の実施				
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光政策課	【098-866-2763】				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	観光統計実態調査事業						R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
	主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	
県単等	委託	24,978	23,327	24,152	15,486	37,296	37,517	県単等	OR3年度： 沖縄を訪れた国内観光客を対象に、那覇空港及び主要離島空港において、QRコードを活用した方式よりアンケート調査を行った。 OR4年度： R3年度に引き続き、那覇空港及び主要離島空港においてQRコードを活用したアンケート調査を実施する。

様式1(主な取組)

活動指標名	空港アンケート調査				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要	
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B				
	実施	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%	37,296	順調	国内客の性別・年代・居住地・消費額等の基本属性及び沖縄旅行の満足度等を把握するため、那覇空港及び主要離島空港（宮古・下地島・石垣・久米島）においてQRコードを使用したアンケート調査を実施した。	
活動指標名					R3年度						
実績値										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
活動指標名					R3年度						
実績値											新型コロナウイルス感染症の影響により、年度上半期（2回）の調査を行うことができなかった。 年度下半期（2回）については、調査ステッカーのデザインを感染予防を意識させるものに変更する等して調査を実施した。 調査結果については、観光関連機関等に情報提供するとともに、県HPへも掲載し、戦略的な観光施策や観光地づくりを進めていくうえで活用していく。
活動指標名					R3年度						
実績値											
(2)これまでの改善案の反映状況											
令和3年度 of 取組改善案						反映状況					
<ul style="list-style-type: none"> <li>ポスターは空港待合室の内装にマッチする沖縄観光をイメージさせたデザインに工夫し、引き続きQRコードを活用した接触を伴わない調査を実施できるよう各空港管理者と調整する。</li> <li>既存のアンケート調査では採取できていない観光客の県内観光の動向についてサンプルデータを収集するため、ICT等を活用した調査の検討を行う。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>調査ポスターについては、新型コロナウイルス感染拡大の影響から感染予防を意識させるデザインに工夫して、QRコードを活用した調査を実施した。</li> <li>観光客と県内観光施設の混雑状況の関係を把握するため、那覇空港の到着数と観光施設の混雑状況を定点カメラ等を設置して調査した。</li> </ul>					



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きあることから、各空港関係者との調整を綿密に行い、感染対策を徹底したうえでの調査実施に努める必要がある。

##### ○外部環境の変化

・調査ステッカーのデザインについて、新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、感染防止を意識させるようなデザインの工夫をしてほしいと空港関係者からの求めがある。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・QRコードを付した調査ポスターは、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じたデザインに工夫する必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

・調査ポスターは、空港待合室の内装にマッチする沖縄観光をイメージさせるデザインにするとともに、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた工夫をすることで、引き続きQRコードを活用した接触を伴わない調査を実施できるよう各空港管理者と調整を行う。



様式1(主な取組)

活動指標名	観光産業の実態調査等の実施				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	実施	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%	7,584	順調	令和3年度については、第6次沖縄県観光振興基本計画成果指標取得のため、宿泊事業、旅行業、観光施設、観光を学科として取り扱っている大学、専門学校を対象に、施設内でのサービス内容や雇用形態、沖縄を着地とする募集型企画旅行商品のうち、カーボンオフセットを導入している旅行商品割合等の調査を実施した。  進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果  調査の実施により、観光産業の基盤強化とサービス向上、雇用環境の改善に繋がる施策立案の基礎資料となった。第6次沖縄県観光振興基本計画成果指標については、今後継続して調査を実施していく。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>さらなる調査項目の簡素化を検討し、回答者の負担を減らすことで回答率向上を図る。</li> <li>調査実施回数を増やす等、調査と発表のタイムラグを無くすことでタイムリーな情報発信に取り組む。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>業種毎に調査票を作成し、回答者の負担軽減を図るとともに、電話での回答のお願い、質問項目の説明を行うなど回答率の向上に努めた。</li> <li>第6次沖縄県観光振興基本計画成果指標の取得のため、各関連業種毎に各種調査を実施した。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・業種によっては、質問項目が多岐にわたり、設問数が非常に多くなり、回答者負担が大きくなっていることから、回答率が低くなっていることが課題である。

##### ○外部環境の変化

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・観光産業における現状と課題をよりタイムリーに把握し、課題解決に向けた施策立案をスピーディーに行う必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・さらなる調査項目の簡素化を検討し、回答者の負担を減らすことで回答率向上を図る。
- ・回答者へのヒアリング調査回数を増やし、より具体例的に現状を把握するよう務める。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-カ	産業間連携の強化	施策	① 観光リゾート産業と多様な産業との連携
			施策の小項目名	○産業間連携による体験型観光の推進
主な取組	観光産業と他産業を繋ぐコーディネート機能の強化			
対応する主な課題	①観光リゾート産業のさらなる高度化に向けては、ものづくり産業、農林水産業、情報通信関連産業等、多様な産業との有機的な連携を強化し、観光産業がもたらす県経済全体への波及効果を高めていく必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
観光消費による経済波及効果の拡大を図るため、観光産業・観光客等への情報発信等の観光施策と、農林水産・商工の施策との連携を図る。						
実施主体		観光客ニーズのフィードバック 商品・サービス評価のモニタリング				
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光政策課	【098-866-2763】				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度： OR4年度：
—	直接実施	—	—	—	—	—	—		OR3年度： ウェブサイト等において情報発信を行うほか、ICT活用による観光客の消費環境の改善に向けて関係機関との連携を図った。 OR4年度： —
予算事業名							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度： OR4年度：
									OR3年度： OR4年度：

様式1(主な取組)

活動指標名	観光客ニーズのフィードバック 商品・サービスのモニタリング				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	実施	実施	実施	実施	実施	実施	100.0%	0	順調	他部局との連携による持続可能な観光について意見交換を実施し、現在の取組状況や今後の連携について意見交換を行った。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄観光コンベンションビューローを始め、市町村や各地域における観光協会、商工会と連携を強化することで産業間連携を図り、体験型観光を推進していく。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村観光担当部局及び県庁関係部局、観光関連団体等と観光施策について意見交換を行った。</li> </ul>				





## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・観光産業と他産業とのコーディネート機能の強化による観光消費額の向上や滞在日数の延伸等に向け、関係部局との連携を強化するとともに、観光客の消費活動や実態等について、引き続き、調査を行っていく必要がある。

##### ○外部環境の変化

—

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・市町村と意見交換会や勉強会を実施することにより、各地域における観光協会や商工会と連携や情報発信を強化し、特産品や地場産業と観光振興を繋げることで、産業間連携を図る必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

・沖縄観光コンベンションビューローをはじめ、市町村や各地域における観光協会、商工会と連携を強化する必要がある。